

「四季・植物」 23 菖蒲

学名 *Acorus calamus* L.

サトイモ科の多年草

漢名「菖蒲」の音読みだが、本来「菖蒲」は同じサトイモ科の常緑多年草セキショウをさす。

郷土資料から見た「菖蒲」のあれこれ

かつては「アヤメ」と呼ばれ、ハナショウブとは名前と葉が似ているため混同されることが多いが、五月に端午の節句で使われる菖蒲はサトイモ科、アヤメ科の「アヤメ」「ハナショウブ」とは異なる植物である。サトイモ科の菖蒲は強い香気があり、その香気が邪気を払うとされる。採取する際には他の植物と間違えないようにする必要がある。

菖蒲とヨモギを入れた風呂を「菖蒲湯」と呼び、邪気を払い健康を保つといわれ、菖蒲湯への入浴は端午の節句の行事の一つとなっている。柏崎では5月5日ではなく「宵節句」といわれる5月4日に菖蒲湯に入る地域が多く、この風呂に入ると蛇にかまれないという。

菖蒲の音が尚武に通じることから、武家の時代から端午の節句は男子の節句となったが、柏崎では「特に娘は菖蒲湯に入れ」（「柏崎市史資料集 民俗篇」）といって女子に菖蒲湯をすすめる地域がある。これは蛇と菖蒲湯にまつわる伝承からくるとされる。

菖蒲を使った端午の節句の行事は他にもあり、端午の節句は別名を「菖蒲の節句」という。

参考資料

- | | | | | | |
|---------------|-------------|------|--------------|-------------|------|
| 「柏崎市史資料集 民俗篇」 | 柏崎市史編さん委員会編 | 1986 | 「五節句の楽しみ」 | 冷泉為人著 | 1996 |
| 「草木花歳時記 夏」 | 朝日新聞社発行 | 1999 | 「図説 花と樹の大辞典」 | 植物文化研究会・雅麗篇 | 1996 |
| 「柏崎・刈羽の山野草」 | 柏崎植物友の会編 | 1986 | | | |